

平成26年11月20日



鉄道・運輸機構

1,250 総トン型SES旅客フェリーの進水について

鉄道・運輸機構において、建造促進を図っているスーパーエコシップ（SES）は、電気推進システムを採用することにより、CO₂排出量の大幅な削減といった環境負荷低減や大幅な省エネを実現するほか、船内環境（騒音・振動）を大きく改善する最新鋭の船舶であり、現在その建造隻数が増加しているところです。

このたび、11月26日（水）に25隻目のSESとなる1,250 総トン型旅客フェリーが進水する運びとなりましたので、お知らせいたします。

本船は、鹿児島市と鉄道・運輸機構との共有船として、前畑造船株式会社（所在地：長崎県）で建造中であり、竣工後は鹿児島市船舶局により、鹿児島市の中心市街地に位置する鹿児島港と対岸の桜島港との間を結ぶルートで運航される予定となっています。

本船は、平成23年に建造した「桜島丸」に続く鹿児島市のSES2番船となる旅客フェリーです。「桜島丸」と同様に二重反転ポッド推進器を2式採用した両頭船になり、「環境にやさしく、経済的で、バリアフリーに配慮した、利用者に親しまれる電気推進船」として活躍することが期待されます。

なお、進水式の様子を取材される場合は、事前に下記の前畑造船株式会社連絡先までご連絡ください。

【進水式の日時・場所・連絡先】

日 時：平成26年11月26日（水）10:00～11:20

場 所：前畑造船株式会社（長崎県佐世保市干尽町6-3）

連絡先：前畑造船株式会社業務部

電話：0956-76-8604

【連絡先】

鉄道・運輸機構

共有船舶建造支援部 土屋、丸山

電 話 045-222-9123

FAX 045-222-9150

1,250総トン型SES旅客フェリーの概要

〔本船の船主等〕

船主：鹿児島市船舶局
独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
契約造船所：前畑造船株式会社
建造造船所：前畑造船株式会社

〔概要〕

竣工予定：平成27年2月
航行区域：平水区域
主要航路：鹿児島～桜島
航海速度：約11.0ノット（約20.4km/時）
総トン数：約1,250トン
垂線間長×幅×深さ：52.00m×13.50m×4.20m
積載能力：600人（車両搭載時1.5時間未満）、大型車10台、乗用車30台
推進システム：発電方式 ディーゼル発電機750kW×3台
制御方式 インバータ可変速制御 ×4式
推進方式 推進用電動機500kW×4台
二重反転式ポッド推進器×2式

〔特長〕

(1) 省エネ、環境負荷の低減

- 高効率の二重反転プロペラを採用して、従来の主機関直結駆動の在来船に比べ省エネを実現
- バトックフローの船首尾両端部を絞り込み、波切れが良く抵抗が小さくなる様な船型を採用

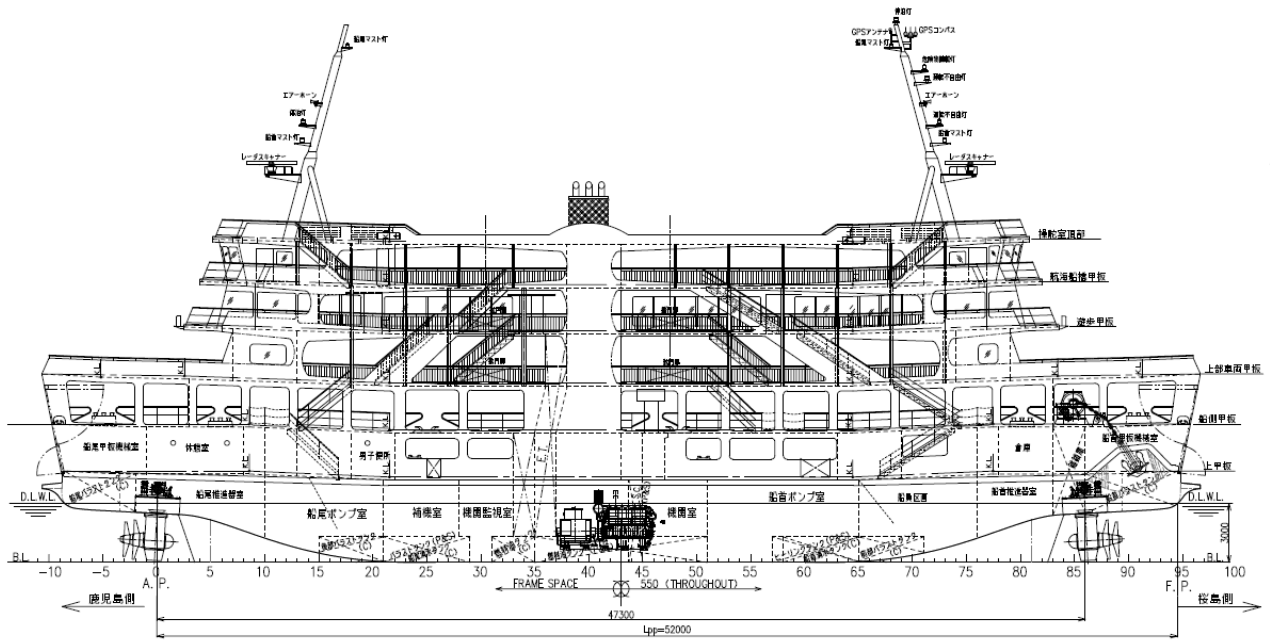
(2) 船内環境の改善

- 従来船で使用する大型のディーゼル主機関の代わりに3台の小型ディーゼル発電機関を採用したことで、旅客室での高い静粛性を確保（低振動・低騒音）
- 下部車両甲板から航海船橋甲板に至るまでの経路に手すりを設けてバリアフリーに配慮

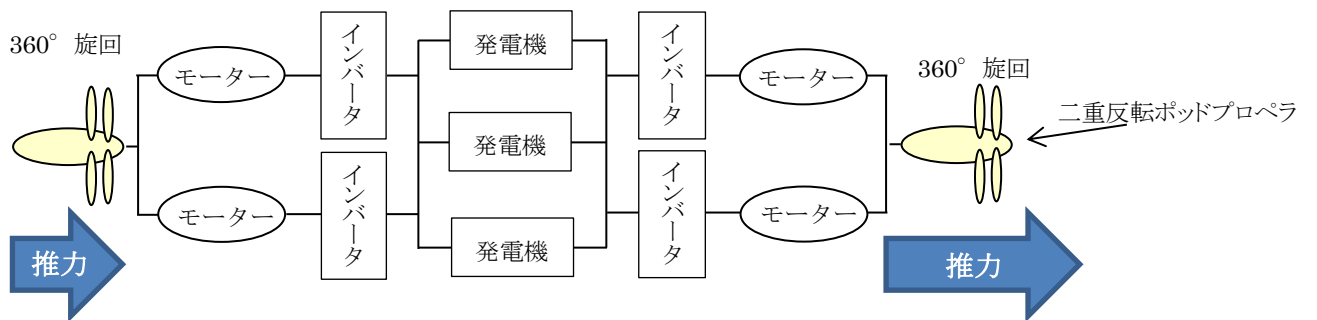
(3) 安全・安定運航

- 3台の発電ユニット、4台の推進電動機等を有することから、一部に故障が生じた場合でも航行可能であり、安全性が格段に向上
- 360° 旋回するポッド推進器により安全かつ迅速な離着岸操船が可能

〔一般配置図〕

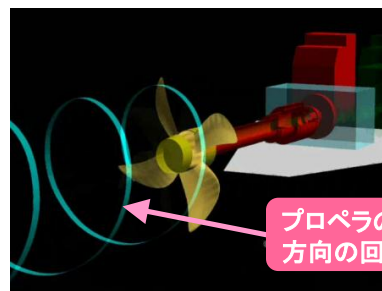


〔推進システムの概略〕



二重反転式ポッド推進器（桜島丸に搭載のもの）

通常のプロペラ



客室イメージ図

二重反転プロペラ

